

であらう。

◎重慶紙、對日作戰準備を米に要請

△正言報

日米會談は決裂し太平洋戦争の起ることは必然なるを以て米國は之に對應するために速かに次の二項を實施するを要す

- (一) 米國の陸軍は限度あるを以て對日戰の主力は海空軍により先づ大海軍を比律賓及び新嘉坡に派遣し英の極東艦隊に聯合せしめ、且つ支那の西南邊境及び新嘉坡に派遣し英の極東艦隊に聯合せしめ且つ支那の西南邊境及び泰ピルマに大飛行部隊を派遣して支、英、泰、緬の陸軍に協力し日軍の攻勢に抵抗す
- (二) 太平洋民治國陣線を一たらしむるために支、英、緬、泰代表を華府に集め、同盟を終結し對合作戰を計畫す

◎南京政府の自壞作用

△マニラ電報 (UP電) 十二月三日

(重慶發) 消息通の語る所に依れば佛德南京政府のお先機を壊いでゐる連中は南京政府が崩壊すれば直ぐ機海外へ逃亡せんがためまるで流行でも逐ふやうに外貨買ひに一身をやつしてゐるごまふ。

而して南京政府内支那役人達をしてその仕事をやりにくくしてゐる原因の中に、國際情勢が日日に日本側に不利にやりつつあること並に東京の當局者間では親汪が反汪かの論争絶えず汪兆銘に對する不信が増大しつつあることを懸げてゐる。

◎佛印南部に日軍大集結

△マニラ電報 (UP電) 十二月三日

(上海發) 西貢から送した外國の軍事消息通の報道によれば日本は南部佛印に強力な機械化部隊を集中してをりその中には多數の一人乗小タンク五百臺の飛行機更にそれ以上の軍用トラック自動車備品が含まれる。先週の輸送は物資用具が大部分で軍隊は極めて少なかった。然し増派部隊は近く襄陽南支那から到着するものと思はれる南部佛印の常駐五千と云はれるが軍事通は資源確保の行動を抑制する事は困難であり従つて兵力は十萬に近いも